

ブライダルの「フェアリー・テイル」がおもてなし重

讃岐の逸品・銘品を重箱に詰めた「ふるさと讃岐のおもてなし重」が7月末に本格的に発売された。企画・販売するのは、高松市瓦町のブライダルプロデュース会社「フェアリー・テイル」。地元・香川県でのふるさとウエディング用の引出物として考案したが、中元や歳暮などの家庭用やビジネスの手土産としても需要が期待される。

おもてなし重は、縦17センチ、横23センチ、高さ7センチの紙製の重箱を2〜4段にしたもの。各段に「讃岐の和み」「讃岐の嗜み」「讃岐の馴染み」「讃岐の極み」と銘打ち、同社の藤田徳子社長(42)が吟味した生うどん▽めんつゆとだし醬油▽和三盆▽讃岐夢豚の焼き豚▽希少糖入りしょうゆ▽漆器」など、形や大きさが違う商品を重箱用に一部デザイン変更するなどして、上品に詰め合わせた。



「ふるさとウエディング」は、「香川」を満載した引出物でおもてなしするのがふさわしい」と藤田社長は考え、伝統や歴史などの背景も包み紙に記載した。おもてなし重は、2段の5500円から4段の1万9千円(税別)まで。ギフトカードもあり、ウェブサイトで「おもてなし重本舗」でも販売する。

重箱に詰める商品は、県産

「ふるさと讃岐のおもてなし重」を企画した藤田社長—高松市



フェアリー・テイル
▷創業—平成10年10月▷本社—香川県高松市▷従業員数—6人(7月現在)▽事業内容—結婚式・パーティーのプロデュース、ウエディングドレスのオーダー製作・レンタル・販売、ウエディンググッズ・引出物のギフト販売など。

◎経営方針・社風
企業理念は、豊かな心と心をつなぎ合う無限の「人間力(ヒューマンネットワーク)」と、人々に夢と感動を提供する無限の「創造力(プロデュース)」を誇りとする文化創出企業を目指す。

◆「産経 YouTube おもてなし重」で動画が見られます。

ふるさとの逸品を「凝縮」

の食材や伝統工芸品など約30種の中から選択。「今後、地元の生産者や企業などとマッチングしながら、アイテムを徐々に増やしていきたい」という。また、現在箱詰め作業は女性が担当しているが、需要が増えれば子育て中の主婦や定年退職した女性など、雇用の機会も期待できる。

このおもてなし重のコンセプトは、将来的に全国各地にも広める計画で、各県の逸品を集めた「ふるさとのおもてなし重」のプロデュースまで発展させる。

同社では平成12年から、玉藻公園(高松市)▽直島(直島町)▽栗林公園(高松市)▽高松丸亀町商店街(同)―など、香川を代表する場所での結婚式を100組以上プロデュースしてきた。その際、藤田社長が大切にしているのは、地域に伝わる風習。嫁ぐ娘が美家近くの人たちにあいさつする「出立ち式」など、ホテル挙式にはない内容を盛り込んでいる。

「地元で結婚式を挙げる意味や、地域の人たちとの交流を新郎新婦にも体験してほしい」と、取り組んでいる「ふるさとさぬきウエディング」は、24年に開催された「GOOD WEDDING AWARD 2012」(リクルートブライダル総研主催)の全国大会で準グランプリを受賞した。(秋山由美子)



「ふるさと讃岐のおもてなし重」に詰められた讃岐の逸品・銘品